

# 人が残り、地域が残る歯舞酪農の確立

(根室市歯舞地域)

## 1 課題の背景\*\*\*\*\*

歯舞地域は牛舎施設の老朽化が進んでいるため、若手経営者や後継者を中心に施設投資への意欲が高まっている。そのため、規模拡大にあたり後継牛の確保と飼養環境改善による地域生産乳量の向上が求められている。(対象酪農家9戸)

## 2 活動の経過\*\*\*\*\*

### (1)後継牛確保の取り組み

#### 乾乳牛の栄養改善



乾乳牛管理の技術習得のため、地域内の先進的な農場で現地研修会を開催。

#### ほ育牛の施設改善



ほ育作業立会により、石灰塗布による衛生的な施設環境の整備を提案。

#### 育成牛の施設改善



全戸の育成牛管理作業に立ち会い、課題を整理。



適正な飼料給与に必要な連動スタンションの改修を提案。

### (2)飼養環境改善による地域生産乳量の向上

#### 搾乳牛の栄養改善



乳牛のモニタリング調査から、栄養改善に向けた適正な飼料給与を提案。

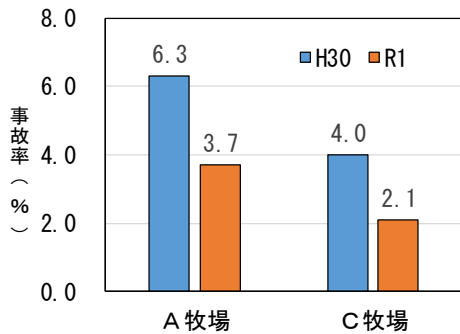


設計に基づいた適正飼料給与と乳牛モニタリング、採食量調査を継続的に実施。

### 3 活動の成果\*\*\*\*\*

#### (1)後継牛確保の取り組み

乾乳牛の栄養改善→分娩時の子牛事故率が低減



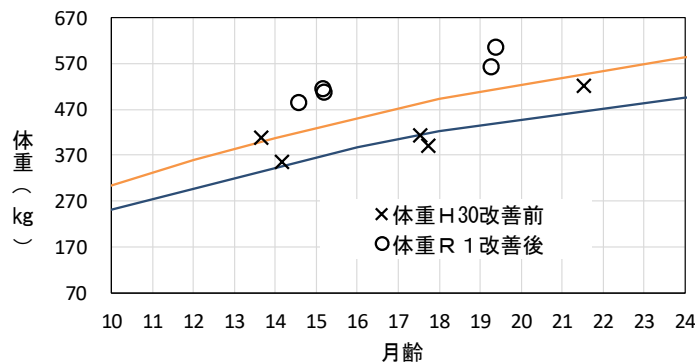
乾乳期の栄養改善に取り組んだ2牧場は、分娩時の子牛の事故率がH30：6.3%→R1：3.7%、H30：4.0%→R1：2.1%に低減した。

ほ育牛の施設改善→ほ育牛の事故率が減少



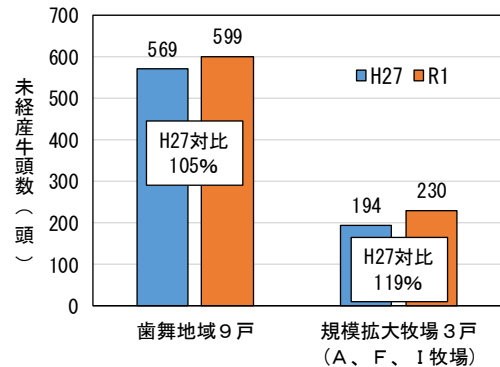
F牧場は疾病の減少に向けてカーフペンの石灰塗布を実施。ほ育牛の事故率がH30：1.1%→R1：0%に減少した。

育成牛の施設改善→育成牛の発育向上で初産分娩月齢が短縮



I牧場は連動スタンションを改修し、適正な飼料給与を実践。栄養の充足により育成牛の発育が向上。初産分娩月齢もH30年対比で0.5ヶ月短縮した。

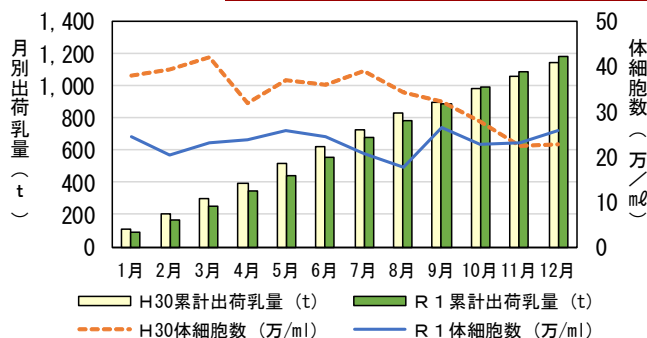
未經産牛頭数の増加



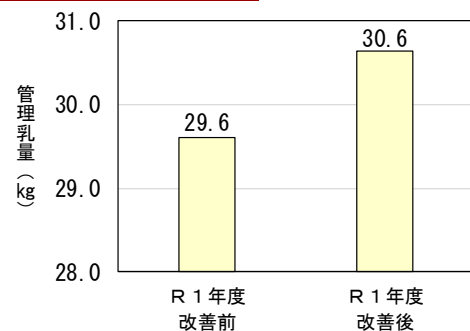
地域全体の未經産牛頭数はH27年対比で105%、規模拡大予定牧場（3戸）は119%とそれぞれ増加した。

#### (2)飼養環境改善による地域生産乳量の向上

搾乳牛の栄養改善→出荷(個体)乳量の向上



A牧場は飼料設計に基づく適正飼料給与の実践により、出荷乳量が36t増加し、体細胞数も減少した。



C牧場はTMRを増給した結果、搾乳牛の栄養が充足し、乳検成績の管理乳量が1.0kg増加した。

#### 4 今後の活動\*\*\*\*\*

「後継牛確保」「地域生産乳量の向上」に向けた支援活動の継続と取組成果の地域外への波及に努める。